

夕刊 七月廿一日

常警每日新聞

定価 一部金五銭 月刊金五拾銭 郵費五銭
 廣告料 五銭 十二字 廿一行 金五拾銭
 日曜 祭日 休刊
 印刷所 常警印刷局
 電話 六二〇〇
 社 常警印刷局



金華山に遊ぶ (一)

小野 誠三郎

旅！ 夏！ 旅！
 旅に憧れを持つ心！ こ
 れは人間の原始時代よりの
 傳統的な欲望である。
 風餐露宿として雄大な山
 岳に謎を求め、或は變幻極
 りなき海濱に、又は渺茫た
 る海の姿を求めて、聖なる
 自然美を満喫し、更らにそ
 の綜合美を心ゆくまで鑑賞
 し、之を無限に享樂する程
 豪華な歡樂はあるだらうか
 ？ しかも總てに開放的な
 夏に於てをや。

神秘を永劫に秘めて幾多
 昔よりの旅する人の憧れを
 持った靈島！ 金華山に、
 車窓一睡の夢に旅する予等
 の恵まれを深く感謝せねば
 ならない。
 鹽釜の港を正午に發した
 射水丸(三百噸)は一時間八
 厘の速力で、紺青の波を蹴
 つて雪を醸しつつ、一路憧
 憬の孤島！ 金華山へと進
 んだのであつた。
 金波！ 銀波！ 沖に出
 するに随つて、波やうやく
 高く、鹽釜の港も薄墨の如
 く遙として、その速きに驚
 く。
 松島の島々、緑を求め
 る予達の瞳は、新に展開する

奇妙なる島の數々に、限り
 なき欣びを感じながら時の
 経るのを忘れるのであつた
 ほのかに横たわれる牡鹿
 の半島も、今は、呼べは應
 へん、指呼の間に見えて、
 その半島を圍む鬱蒼たる密
 林の美は、予等を恍惚たら
 しめ、スマートな鷗の、ニ
 ヤオ・ニヤオと啼く奇異な
 聲に旅人は海の怪を喰るの
 であつた。
 行く、行く、船は速力を
 早める、船中、船長の好意
 で、レコードに興を得る、
 『島の娘』や『踊子の歌』を聞
 いたとき、一抹の寂しさを
 感ずるのであつた。
 金華山に至る所用時間、
 四時間、行程實に十二哩。

ノート

魚類は何
 よらず均
 齊のとれ
 た形のもの
 は美味い
 船中幾分の屈伸氣を催した
 陸の人々も、金華山近しの
 言語に一入の元氣を得るの
 であつた。
 俗塵に汚れなき、憧れの
 島！
 金華山の雄大な姿は目
 前に展開された。

嘗々として危く、中腹に至
 つて眺望すれば、巨大なり
 し船も尺寸の型に見え、た
 ら松籟の音のみ聞ゆるので
 あつた。
 松並木に添うて不調和な
 石段を登り、五十分程にし
 て黄金山神社に辿りついた
 のであつた。
 黄金山神社は勿論金華山
 神社である。
 苔むせし幾百の石燈籠も
 枚舉に惶まなく、鬱蒼たる
 密林の中に神々しき社頭の
 夕日の赤く染まりたる見て
 ほどなく社前に至り、社前
 に額して敬意を表すのであ
 つた。

島と牡鹿半島との間の海
 峡！ 山鳥渡り！ その水
 色、澄んでエメラルドグリー
 ンの如くして海底に玉石を
 敷き、美魚の右往左往する
 も一興であつた。暫く優雅
 な詩の國に入つたのであつ
 た。

【朝】ふくめ煮—焼豆腐
 油揚
 【晝】煮肴—黒鯛鹽焼 青
 板昆布
 【晚】どせう—笹がさごぼ
 う

船、投錨して午後四時半
 に停る。
 甲板に立ち、靈島の全
 貌を見たとき、實に一幅の
 繪畫にして造化の妙筆のお
 面白味に痛感したのであつ
 た。

島は原始林を構成して幽
 邃なる溪谷を幾つも抱いて
 水は千岩を噛んで、海のコー
 ーラスを唱ふあたり、至純
 至高なる男性的な快感を得
 のであつた。
 傳馬船にて岩壁に至れば
 人懐かしげな鹿が、數頭來
 りて、餌を求むるなど可愛
 ゆらし。
 愈々金の山と謂はれて來
 たこの山に登るのであつた
 道は赤井嶽の如くで、裸石

嘗々として危く、中腹に至
 つて眺望すれば、巨大なり
 し船も尺寸の型に見え、た
 ら松籟の音のみ聞ゆるので
 あつた。
 松並木に添うて不調和な
 石段を登り、五十分程にし
 て黄金山神社に辿りついた
 のであつた。
 黄金山神社は勿論金華山
 神社である。
 苔むせし幾百の石燈籠も
 枚舉に惶まなく、鬱蒼たる
 密林の中に神々しき社頭の
 夕日の赤く染まりたる見て
 ほどなく社前に至り、社前
 に額して敬意を表すのであ
 つた。

【二白】金苦の生ずる事ある
 も總て延々する兆あれば不
 平を起さず和順吉【二黒】病
 氣怪俄紛失に注意して現狀
 維持吉【三碧】我望事で奔走
 の用する事あるも成亥と辰
 己は凶他吉【四綠】望事金談
 請負は進で吉昇給の咄もあ
 つて吉【五黃】病氣怪俄紛失
 盜難の心配起る事あれば現
 狀維持吉【六白】重坎に陥る
 の日即ち骨折折頭の揚らざ
 る事あれば家内順和が吉
 【七赤】火劫を受け不平の爲
 に争議を起すことあれば人
 と睦交吉【八白】帳尻を見て
 驚ろく事あり前々より精密
 が大切なり【九紫】一時千擡
 の夢を見て後悔する事あれ
 ば正路を踏むに如す【米と
 株は御來所を乞】

【二白】金苦の生ずる事ある
 も總て延々する兆あれば不
 平を起さず和順吉【二黒】病
 氣怪俄紛失に注意して現狀
 維持吉【三碧】我望事で奔走
 の用する事あるも成亥と辰
 己は凶他吉【四綠】望事金談
 請負は進で吉昇給の咄もあ
 つて吉【五黃】病氣怪俄紛失
 盜難の心配起る事あれば現
 狀維持吉【六白】重坎に陥る
 の日即ち骨折折頭の揚らざ
 る事あれば家内順和が吉
 【七赤】火劫を受け不平の爲
 に争議を起すことあれば人
 と睦交吉【八白】帳尻を見て
 驚ろく事あり前々より精密
 が大切なり【九紫】一時千擡
 の夢を見て後悔する事あれ
 ば正路を踏むに如す【米と
 株は御來所を乞】

中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七

美味で！
 評判の……
 イワキ
 サロン
 電 352

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎巡回文庫
 電六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

暗い行燈から
 マツダランプ
 常警卸元 日東商會
 平町白銀町(電話四二八番)

吸入用酸素 純度 99%

特約販賣店

一丁目 常盤屋時計店	湯本町 東雲堂藥店
二丁目 古山電氣商會	小名濱 白石藥局
三丁目 大谷時計店	植田町 磐城屋商店
新川町 木村電氣商會	浪江町 松本支店
南町 常警ラジオ商會	原町 柴田電氣商店

關内藥局

電話四〇番

度量衡器
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 体温器
 寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

寫真材料一式販賣致シマス

若妻に飛び掛り

くびを締め強奪

宵闇迫る人家なき村道に 自轉車を走らせ追駈来る

犯人其場より逃走

石城郡玉川村大字林城字辻前三農長瀬武妻チカ(二)は昨廿日午後七時半頃小名濱町より同村住吉地内の人家なき村道を急いで家に歸る途中後方から自轉車で飛んで来た一名の労働者が

あつたが矢庭に同女の首を締め付け懐中から現金二圓餘在中の財布を強奪更らに左腕に掛けて居たクローム側の腕時計をもぎ取つて再び自轉車に乗り雲を霞と逃げ去つた

二時間後に

犯人を逮捕

平署の大手柄

鹿島山中の大格闘

急報に接した平署では機を逸せず全署員の非常召集を行つて附近一帯クモの集の様に警戒網を張り犯人捜査に全力を擧ぐる一方玉川村駐在所の石川巡査は被害者のチカさんから犯人は鹿島の街道を鹿島村方面に向つて

イを走せ来たつた平署員も共々應援泥漢を逮捕して午後九時平署に引揚げた

強盗前科

三犯の強か者 出獄後就職口なく 又も此大罪

犯人は栃木縣那須郡黒羽町字前田生當時石城郡赤井村川瀬炭礦坑夫新之助方同居強盗前科三犯萩田寅之助(三)と云ふ強か者で本年四月二十五日八ヶ年の刑を宇都宮刑務所に済し出獄して前記赤井村の實兄を頼つて

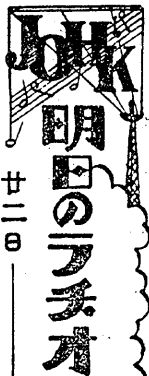
平町では本年に入つて腸チブス患者七名、疫痢三名、赤痢二名、猩紅熱一名、チフテリア二十二名、合計三十五名の傳染病患者が發生し目下隔離舎の收容人員五名に及んで居るが流行季節の酷暑に際し町役場から左の注意書を發すると

傳染病の

豫防注意書を

全町に配布す

△飲食に注意し生物は努めて煮焼して食する事
△食器の煮沸衣服の洗濯寝具の日光消毒を行ひ手を清潔する事
△悪寒、發熱、下痢、嘔吐、吹出物等を催したる時は直に醫師の診療を受ける事
△萬一患者發生したる時は入院する問患者に接する毎手を消毒し汚物の出入を防止する事



報豫氣天

今晚も明日も南東の風驟雨模様

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間お話「私の水泳上達法」前畑秀子 宮崎康二
後六、二五 趣味講座「高山樗牛と文學」神山潤
後七、三〇 「婦人の夕講」演會「現代婦人の理想的タイプに就て」婦人の特性を自覺して 小塚浪路

後七、四八 「現代婦人のボーツを語る」木谷千種
後八、〇六 「外から見た感じのよさ」ささきふさ
後八、二四 「やさしさ女らしさに根ざして」吉田じよう
後八、四二 「婦人の個性を活かしたい」篠野静江
後九、〇〇 「隅田川、川開き賞況」柳光亨地先より

明日の部

中継 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
後六、二五 ことばの講座 新村出
後七、三〇 「子供の夕」兒童劇「太郎博士の大發明」古屋雛菊童謡團 指揮駒田ヒサシ
後八、〇〇 童話 櫻葉勇
後八、三〇 兒童劇「蠅が襲撃したぞ」BKコードモサークル
後九、〇〇 ビアノと管絃 樂 ビアノ野村美智子 日本放送交響樂團 指揮萩原英一

一夜の内に荷造り

トラツクで東京へ

計劃的な金物窃盜團

八十名檢挙さる

平檢事局にては目下銅線其他の金物窃盜罪及び贓物故買罪として三堀檢事が苦熱と闘ひつゝの取調べを續けて居る被疑者は石城郡内郷

女あり、湯上りの豊麗な玉の肌を、夕風にさらして椽先に涼む。

火の元は何處

關内君と吸カラ

町議の關内正一某所の樓上で某友と會談の砌、心なき某友、煙草の吸がらを戶外に投げ捨つ、關内君消防幹部だけにタマ

關内君長嘆久ふして曰く「吸がらから火どころか俺の顔から火が出たワ

村鈴木才市外八十名の多數に上つてゐるが之等はいづれも計劃的に犯罪の手等を定め贓品を一夜の内に荷造りしてトラツクに積み東京へ向けて出荷して居たものであると

平職業紹介所報告

回人を求める方

- ▲女中 五十迄 尋卒 月十圓位(四倉町某)
- ▲商店雜役 十八才 尋卒 仕着外五圓(茨城縣某)
- ▲子守 十三以下 委細面談(湯本町某)

御愛乗下さい

シボレーに!
そは先驅者なり

- ▲女工 二十四迄 尋卒 給料面談(某製糸工場)
- ▲回職を求めめる方
- ▲電氣工 二十才 尋卒 給料面談(内郷村某)
- ▲集金人 三十才 乙商卒 給料面談(平町某)
- ▲看護人 四十三才 中卒 給料面談(内郷村某)
- ▲事務員 三十四才 中卒 給料面談(双葉郡某)

靴白い安おでクーシ

見るからに

涼味爽やかな!

防水白リンネル靴

細型、ブル型、角型

三、〇〇ヨリ四、〇〇マデ

オリンピック型……四、八〇

菊地靴店

平四丁目



外務社員採用 初任固定給 月三十圓

二十五才以上男女を問はず
履歷書携帶左記へ面談。毎日午後

平町田町一七

レストランサロン方

仁壽生命平駐在

吉田仁三郎

電話三五二番

七月二十二日

土用の丑の日 吉例賣出し

牛肉の御用命は……

是非

三二二三屋へ!

電話三二三番

外科 X光線科

性病科

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

入院隨意

七月二十二日は土用丑の日です
八月三日は土用丑の日です

夏の健康に定評ある!

江戸川のうなぎを

おすすめ致します

うなぎ料理専門 江戸川

電話五四七番

貸切の●●●

御用命は!!!

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

淋病

専門 腸虫病 十二指腸

院醫科 腸病 胃性病 七〇一話電

梅毒

淋病 皮膚病 婦人病

院醫科 腸病 胃性病 七〇一話電

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

外科 婦人科 井坂醫院

平町田町 電話九五五番

お醤油は……ヤマフル

醤油味噌 味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品

山崎合名會社

鹽屋 福島縣平町(電話營業部二〇釀造工場三七) 明治生命磐城代理店 山崎與三郎

7月22日

牛肉

大廉賣

土用の丑の日

多少にかかわらず

御注文下さい

石川亭

電43番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

磐城セメント會社特約店

久松屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷は生命なり